

令和6年度第1回消防委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年7月30日（火）14時00分から15時00分
- 2 開催場所 印西市役所附属棟23会議室
- 3 出席者 川上賢二、高橋尚子、新妻洋、田代賢司、宮本浩
富井庄一、石川太巳、浅野富夫、豊田徳之、佐藤勝己、小川
誠一郎
- 4 欠席者 佐藤正巳
- 5 事務局 富澤防災課長、岩井係長、児島主任主事、小暮主任主事
- 6 傍聴者 0名
- 7 議事 (1) 令和6年度消防団活動進捗報告及び行事計画について
(2) 操法大会について
(3) その他
- 8 議事録(要点)

事務局 【議事(1)について説明】

【以下質疑応答】

委員 条例定数と実員数に差があるが、定数を変える考えはあるか。

事務局 定数と実員数の乖離が生じているところであるが、定数を満たしている分団、不足している分団と、分団によって差が生じていることもあり、定数の見直しまで進められていない。定数まで団員を増やすことは難しい面もあるが、昨年度、成人を祝う会にて団員募集のチラシを配布してPRを実施。また、能登半島地震を受けて、若者の防災意識の高まりも考えられるため、引き続き普及啓発に努めていく。

委員長 女性消防団員が昨年から増えているため、最近の状況について話を伺いたい。

委員 女性消防団員は昨年から3名新規に入団した。入団経緯として、女性部団員が自身の住んでいる地域の人に声かけをして入団した者や毎月消防組合から依頼を受けて行っている救命講習の際に女性消防団のPRをしており、それを受けて入った方がいる。

新規３名の方は先日応急手当普及員講習を受講し、資格を取得した。女性部団員は、新規団員が入ってきたことによって、改めて今後も頑張らなくてはいけない、という意識の元、毎月定例会を設けて救命講習の練習などを行い、スキルアップに努めている。

委員長 消防団のPRとして、中学校など、学校に対してのPRはどうか。消防団という人たちがいるという程度のPRでも良いのではないか。最近消防団が何をやっているか知らない人も多い。消防団を身近に感じてもらうためにも学校などにPRを行い、そのことが数年後につながるのではないか。

委員 消防団の年齢や性別、定年に関して規定はあるのか。

事務局 基本団員については、印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例第４条第１項によって定められている。

１つ目、市内に居住し、通学し、若しくは勤務する者又は本市に近接する地域の居住者で消防団活動に従事できると認められるもの。

２つ目、年齢１８歳以上の者。

３つ目、志操堅固で、かつ、身体強健な者。

以上のように条例にて定められている。

委員長 入団時は１７歳だが、その年に１８歳になる人は入団できるのか。

事務局 年齢要件から、入団時に１８歳でなければ入団できない。

事務局 【議事（２）について説明】

【質疑応答なし】

事務局 【議事（３）その他について説明】

【以下、質疑応答】

委 員 ポンプ車が現状配備されているものは 3.5 t 以上で現在の普通運
運転免許では運転できないがその事に関してはどのように考えてい
るか。

事 務 局 毎年団員の保有免許状況を調査したいと考えている。昨年調査し
た時点では 3.5 t 未満の車両を運転できない団員はかなり少ない状
況であった。今後も調査をしていき、状況に応じて車両の更新を検
討していきたい。

委 員 現在配備している車両は全て 3.5 t 以上か。

事 務 局 ポンプ車は 3.5 t 以上。小型積載車は 3.5 t 未満となっている。

委 員 車両は全てオートマなのか。

事 務 局 今年度更新予定の印旛地区の車両 2 台は現状マニュアルだが、今
年度の更新が完了したらマニュアル車はなくなる予定となっている。

委 員 木下の器具庫建替え予定地は既存の器具庫がある場所ではないの
か。

事 務 局 現状の器具庫の下には、木下土地改良区の農業用の管が埋まって
おり、漏水の状況等もあることから、現状の位置での建替えが難し
い。用地を探し、団員・町内会とも話し合いを行い、現在は木下保育
園跡地を予定地として進めている。

委 員 木下保育園跡地の場所だと地盤が低くないか。

事 務 局 利根川の決壊に耐えることは難しいが、通常の雨では浸水しない
よう配慮して進めたいと考えている。

委 員 車両の更新が今年度で終了となるため、その分の予算を器具庫に
充てることは出来ないのか。

事 務 局 車両分の経費ということであるが、現在物価高騰の影響もあり、

消防に係る経費がかなり高くなっている。また、事務量の多さや、建て替えに適した土地を見つけるまで進められないという問題もあり、元々の計画により2箇所の建替え予定のところ、今年度に関しては2箇所の予算を計上できたが、現状は、年1箇所の建替えとなっている。

委 員 瀬戸の工事費はいくらであったか。また、単費か。

事 務 局 工事費だけで3,460万円、参考までに一昨年度の六軒は3,090万円。今年度の将監はまだ工事が完了していないが、4,000万円以上の予定。費用は、県の補助金、地方債の借り入れも行っている。

委 員 長 工期はどのくらいか。

事 務 局 前年度に設計し、当年度に入札。工期は8か月ほど。ただ、実際に工事をしてみて予定外のことがあった場合には多少工期が伸びる場合もある。

議 長 その他について、他に何かありますか。無いようでしたら、本日予定していた議事については、終了いたします。円滑な議事進行に御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。これで議長の任をおろさせていただきます。

事 務 局 【次第5. その他について】

事 務 局 事務局からの連絡事項はないが委員より何かあるか。

委 員 印西市消防団の活動について。救命講習の話が先ほどもあったが、いつから行っているか。毎月の救命講習だけでなく、参加可能な範囲で救命講習に出ていただき、PRすることはいいのではないか。

委 員 令和4年度から実施しており、令和4年度は7回。令和5年度は12回実施している。

委員長 地道な活動が PR 活動になり、数年後先につながる可能性もある。男性消防団員・女性消防団員隔てなくバックアップしていければよい。

委員 能登半島地震の災害ボランティアに団の組織として行くことは難しいかもしれないが、個人として行くことは出来るのではないか。行けるのであれば、印西市消防団の PR をすることもできるのではないか。現地も写真撮影や SNS 等に撮影した写真を投稿することを勧めている。消防団員が活動している写真を撮り、PR につなげることも可能ではないか。

委員長 印西市からもボランティアに行っていることを PR したいという思いがあったということで、色々なところで活動している人も PR になり得るということも頭に入れておきたいと思う。

事務局 消防団員の活動の PR については、色々な場所や媒体を通じて行いたいと考えている。

【配布資料】

- ・次第
- ・印西市消防委員会条例（資料①）
- ・印西市消防委員会委員名簿（資料②）
- ・消防団団員数（資料③）
- ・令和 6 年度 印西市消防団行事計画（資料③）
- ・千葉県報道資料「千葉県消防操法大会」の選考会への移行について（資料④）
- ・令和 6 年度以降の印西市消防操法選考会について（通知）（資料④）
- ・消防団器具庫、消防団車両及び装備品等について（資料⑤）

令和 6 年 7 月 3 0 日に行われた令和 6 年度第 1 回印西市消防委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和 6 年 8 月 1 3 日

会議録署名人 宮本 浩